

2020 年度の和装卸売業 概況

| | |
|----------------------|---|
| 第 1 四半期 4 月～6 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 30%～90%減 ・緊急事態宣言以降、全国的に百貨店を中心とする小売店が休業に入り売上に影響大 ・都道府県をまたいだ移動の自粛が影響 ・卒業、入学シーズンに直撃したため例年よりきもの姿が減少 |
| 第 2 四半期 7 月～9 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 20%～70%減 ・小売店で持ち直し始めたが、京都等の観光都市では祭等のイベント中止による影響大 ・都道府県をまたいだ移動の自粛は継続的に影響 |
| 第 3 四半期 10 月～12 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 10%～30%減 ・百貨店や専門店の店内催事を中心に動き出し始める ・地方と東京とのコロナに対する温度差があり、前年並みの売上には回復するには東京地域の影響大 |
| 第 4 四半期 1 月～3 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 10%～30%減 ・成人式の開催や卒業入学シーズンでの通過儀礼に影響が残る ・アフターコロナを見据えた販売対策は必要だが、経費補助等の補助金はまだまだ必要 |

中央省庁への要望

※婚礼やパーティーなどのフォーマルシーンの抑制を解禁する情報発信

※七五三や成人式、卒業式、入学式などの通過儀礼への補助を追加

※持続化給付金などの経済対策延長と同時に、特に雇用調整助成金は時短営業や休日の増加などで人件費をカバーしている中小企業が多く、少なくとも1年以上の継続延長を